

中山間地域における優良事例集
～高収益農業を目指す地域の工夫～

平成 2 8 年 6 月

農林水産省

【工夫のポイント】

- **氷冷蔵詰出荷**による鮮度保持、共同選別による品質の均一化を実現。他市場の端境期における**高価格の出荷を可能とし**、関西及び中国地方への販路を拡大。
- **下流域が閉鎖性水域**であることから、**生産者全体でエコファーマーを取得**し、環境保全型農業を展開。安全・安心な農産物の供給を通じて、**農産物の付加価値を向上**。

基盤

区画整理や畑地かんがいの整備によるコストダウンや高収益作物の導入

区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、大型農業機械の導入が可能となり、労力の省力化や生産コストの低減が図られ、収益性の高い作物の導入を実現。



基盤整備
(H9年～H21年)

【整備前】

半島地域のため交通の便が悪いえ、**農地は火山灰性土壌のため保水性が低く、かつ小区画・不整形**であり、道路も未整備のため、大型農業機械の導入が困難であった。加えて、畑地かんがい施設も未整備であり、収益性の高い作物の導入が困難となっていた。



【取組地域の概要】

- 位置
うんぜんし
長崎県雲仙市(過疎等)



- 傾斜
・約1/20
- 主要作物
・ブロッコリー、ばれいしよ
- 主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業(H9～H21)
・多面的機能支払交付金(実施中)
・強い農業づくり交付金(H22)

生産現場

エコファーマーの取得による「安全・安心」の産地づくり

- **生産者全体でエコファーマーを取得**し、農業に頼らない生産や共同選別体制の構築により「安全・安心」な評価の向上に取り組む。



加工・流通

流通施設での氷詰め出荷を通じた販路の拡大



- 低温流通施設での氷詰めによる**品質(鮮度)を保持した出荷**を通じて、販路を拡大。

担い手

地域の共同活動による営農の下支え

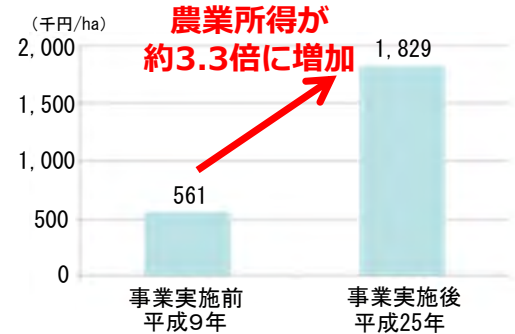


- 多面的機能支払に取り組み、地域住民が主体となった共同活動によって営農を下支え。

高収益作物の導入や販路拡大等による1ha当たりの農業所得の向上

- 地域JAによる「雲仙ブロッコリー」の**販売額は平成27年度に6億円を突破**しており、高収益作物の導入や販路拡大を通じて、所得の向上を実現。

山田原地区における農業所得(1haあたり)の向上



● 農業所得の増(1,268千円/ha)
561千円/ha → 1,829千円/ha

【出典: H26年度 長崎県農村整備課調べ】